

「アブラハムの神・・・イスラエルの神」 神の力でイスラエルを旨めさせられる

イエス様がお生れになった国、神の選びの民イスラエル。しかし、イエス・キリストが救い主と知らず、いまだにメシアを待っている彼らを目ざめさせるために、イ・ジェロク牧師と宣教チームがそこに行った。キリスト教文化を披露した公演、真理のみことばを聞いて歓呼する観衆、いやされた証しをする人々、聖会を取材したマスコミの報道などを写真で紹介する。



聖会の講師イ・ジェロク牧師 「黄金のエルサレム」に合わせた宣教チームの舞



世界と韓国内のキリスト教新聞で報道された「2009年イスラエル連合聖会」



イ・ジェロク牧師が管理事務を務めるイスラエル初のキリスト教放送局REN開局行事



19年ぶりに脚が曲がるようになった



イスラエル人の準備員舞美チーム 車椅子から立ち上がり証しをしているミラ(83才)



多行降参のターニー(30才、左)と 肩の痛みがあったタリアン(53才、右)がいやされた



説教を傾聴しているユダヤ人 子どもと母の祈りを受けている 首の痛みがいやされて感謝している 「イエシュア・メソッド」でヘブライ語、英語、フランス語、ロシア語、リトアニア語059語で神を賛美する宣教チーム

日本支教会の連絡先

主日大礼拝、主日夕方礼拝、金曜徹夜礼拝はソウルの万民中央教会の礼拝をNSS-6衛星で同時にささげています。

・イエス・キリスト飯田万民教会
〒395-0807 長野県飯田市鼎切石 3883-4
T) 0265-56-8286
e-mail) imc@s9.dion.ne.jp

・名古屋万民教会
〒465-0014 名古屋市名東区上菅 1-916
T) 052-774-8874
e-mail) nago_mhc@maroon.plala.or.jp

・イエス・キリスト山形万民教会
〒999-3716 山形県東根市蟹沢 1486-4
T) 0237-43-0771
e-mail) ymgtjks@gmail.com

・イエス・キリスト別府万民教会
〒874-0924 大分県別府市浜野浜町 4-41
T) 0977-23-8980
e-mail) b.manmin@galaxy.ocn.ne.jp

・イエス・キリスト大阪万民教会
〒591-8023 大阪府堺市北区中百舌鳥町 5-775-15
T) 072-220-5289
e-mail) osmanmin@hotmail.com

・イエス・キリスト旭川万民教会
〒071-8144 北海道旭川市春光4条 3丁目 11-23
T) 0166-53-0652
e-mail) asa-mhc@hokkaido.email.ne.jp

・イエス・キリスト東京田端万民教会
〒114-1102 東京都北区田端新町 2-25-3
T) 03-3809-3326
e-mail) manjeong17@yahoo.co.jp

・イエス・キリスト川崎万民教会
〒210-0818 神奈川県川崎市川崎区中瀬2丁目12-8
グリーンヴァレ 301号室
T) 044-277-0178

・イエス・キリスト松本万民教会
〒399-0033 長野県松本市笹賀 4343
T) 0263-57-0003
e-mail) mmcto4343@nifty.com

・イエス・キリスト舞鶴万民教会
〒624-0913 京都府舞鶴市宇上安久 138
T) 0773-75-5656
e-mail) osmanmin@hotmail.com

・岡山万民教会
〒701-2155 岡山市北区中原460
T) 086-275-7276
e-mail) okayama-mhc@clear.ocn.ne.jp

・イエス・キリスト八千代万民教会
〒276-0045 千葉県八千代市大和田 670
T) 047-483-3587
e-mail) hisanao@kyi.biglobe.ne.jp

・イエス・キリスト銚田万民教会
〒311-2102 茨城県銚田市台濁沢1080-6
T) 0291-39-9177
e-mail) surf9snow9@yahoo.co.jp

・イエス・キリスト東京万民教会 (東京万民宣教センター)
〒167-0051 東京都杉並区荻窪 2-29-13
T) 03-6915-1740
e-mail) imc@s9.dion.ne.jp

・横浜鶴見福音教会(協力)
〒230-0047 神奈川県横浜市鶴見区下野台町 3-104-4
T) 045-521-5843

万民ニュース MANMIN NEWS

第78号 2009年 10月 25日
TEL: 82-2-818-7042
www.manmin.org/Japanese

「イエス・キリストだけが唯一のメシアです」 イ・ジェロク牧師<2009年イスラエル連合聖会>で力説、220か国以上に中継



イ・ジェロク牧師の祈りで小児マヒ、視力回復、がん、関節炎、ヘルニアなどがいやされた人々が講壇で証している

今年9月6日-7日、エルサレムの国際コンベンションセンター (ICC)で、クリスタルフォーラム主催により2009年イスラエル連合聖会が開かれた。クリスタルフォーラムはイスラエルの教会成長と教会者の連合のために今年結成されたプロテスタントの超教派団体である。

「GOD IS GREAT」(神は偉大なり)というテーマで開かれたこの聖会に、イスラエル人と世界36か国からの参加があった。講師イ・ジェロク牧師は6日に「創造主の神」を、7日には「イエスがなぜ私たちの救い主であるか」を力強く語った。説教後、講師がイエス・キリストの御名によって病人のために祈ると、いやされた多くの人が講壇に上がってきて、証しをした。

聖会はエンラセテレビ(南北アメリカ)、CNL(カザフスタン)、TBN-ロシア、デジタルコンゴ(コンゴ民主共和国)、GCNとデイスター(アメリカ合衆国)、ZEEテレビ(インド)、ミラクルテレビ(カナダ)など、衛星放送、地上波、ケーブルテレビなど33の放送局から全世界220か国以上に生中継された。

イスラエル連合聖会のメッセージ

イエスがなぜ私たちの救い主であるのか?

「この方以外には、だれによっても救いはありません。世界中でこの御名のほかに、私たちが救われるべき名としては、どのような名も、人間に与えられていないからです。」(使徒の働き4:12)

イスラエルは神が直接選んで導いてくれた民族です(申命記4:31)。唯一の神に仕えて、救いの約束が成就するのを待っています。メシアを待っているということです。ところが、世界の多くの人々が約二千年前にこの地で生まれたイエス様を救い主と信じています。それなら、一度くらいはこれについて考えてみたらどうでしょうか? 神はアダムとエバを造られて、「善悪の知識の木からは取って食ってはならない。それを取って食べた時、あなたは必ず死ぬ。」と仰せられました(創世記2:17)。ところが、アダムとエバは蛇に惑わされて、善悪の知識の木の実を取って食べてしまいました。



堂会長イ・ジェロク牧師

これが人類に罪が入った出来事であり、これによってアダムは必ず死ぬようになりました。ここで「死ぬ」とは、目に見えるからだの死だけでなく、霊的な死、つまり「地獄に行くこと」を意味しています。イエス様は救い主としてのふさわしい条件を備えたので、人類の罪の代価を払うことができました。では、その条件とは何でしょうか?

第一、人でなければなりません。人であるアダムを通して罪が来たので、その罪を贖うのも人でなければなりません(第一コリント15:21)。このように人類すべての罪をただ一度で贖ってくださるために、イエス様は人となってこの地上に来られました(ヘブル7:27, 9:12)。

第二、アダムの子孫であってはなりません。アダムの子孫はみな罪人ですが、罪人は他の人の罪を贖うことができません。イエス様はマリアがヨセフとまだいっしょになる前に聖霊によって宿られたので(マタイ1:18)、おとめマリアのからだを借りただけで、先祖と親から原罪を受け継いでお生まれになったのです。

第三、人類を罪から救う力がなければなりません。霊の世界では罪がないことが力です。イエス様はアダムの子孫でないで原罪がなく、成長しながら神のみことばのとおりに生きて、自分で犯した罪もありませんでした(ヘブル7:26、第一ペテロ2:22)。したがって、敵である悪魔・サタンは神の力を打ち砕いてよみがえり、救い主になられたのです。

第四、愛がなければなりません。イエス様は神の御愛であられ、万物を造られた方です。そのような方が罪人の代わりになげすみと迫害と苦難を受けられたのは、それほどの愛があったからです。イエス様が木にかかって死なれたのも、律法の呪い(ローマ6:23)を贖うために、霊の世界の法則に

従って、代わりに呪われて木にかからなければならなかったからです(ガラテヤ3:13)。また、いのちそのものである血を代わりに注ぎ出してこそ罪が赦されるので(レビ17:14、ヘブル9:22)、全人類の代わりに血を注ぎ出されました。それで私たちの罪が赦されたのです。敵である悪魔・サタンは悪い人々を操って、何の罪もないイエス様を殺しました。しかし、イエス様は死の力を打ち砕いてよみがえられました。

一方、敵である悪魔・サタンは罪のないイエス様を殺して、霊の世界の法則を犯したので、その代価としてイエス様を救い主として受け入れた人を死の力から解放しなければなりません(ローマ5:18)。イエス様を救い主と信じる人は主に結び合わされて一つになり、信仰によって義と認められて、いのちを与えられます。これが十字架に込められた救いの摂理です(第一コリント2:7)。

- 聖会二日目のメッセージ要約 -

<11月 日本支教会 記念行事およびハンカチ集会 予定表>

日付	教会名	行事	講師	日付	教会名	行事	講師
11/3	大阪	ハンカチ集会	キム・マルコ牧師	11/22	東京	ハンカチ集会	未定
11/8	山形	創立記念11周年記念礼拝及び長老就任式	柳承吉牧師	11/23	飯田	万民サービス みつばき完工及びオープン記念行事	未定
11/11	山本	ハンカチ集会	伊藤正明牧師	11/23	舞鶴	ハンカチ集会	キム・マルコ牧師
11/14	別府	ハンカチ集会	加藤勲牧師	11/25	飯田	ハンカチ集会	柳承吉牧師
11/20	銚田	ハンカチ集会	柳承吉牧師	11/28	名古屋	ハンカチ集会	時國みや子牧師



9月6-7日、エルサレムの国際コンベンションセンターで開かれた<2009年イスラエル連合聖会>で世界36か国からの参加者がイ・ジェロク牧師の説教を傾聴している。



世界のキリスト教マスコミ関係者とロシアの政府高官たちの中でイ・ジェロク牧師がイエス・キリストを救い主と宣べ伝えている。英語、ロシア語、日本語、中国語、ヘブライ語、フランス語、スペイン語、エチオピア語など8か国語に通訳された。

エルサレムを揺るがした神の力!

数多くの人が聖書の奇跡を体験

講壇にはフランク・ライト世界キリスト教放送人協会会長、ネスト・コロボGCN社長、ミハイル・モグリス霊的外交団体会長、ダン・ウディン Assist News Service国際代表、パブロ・バスケス(エンラセ・アフロ-ユーラシア地域担当)局長、ジェラルド・ウタヤクマル(フランスHoly Godテレビ)社長など世界のキリスト教マスコミ関係者とロシアの政府高官たちが列席した。

午後6時30分、アレック・ハジン牧師(クリスタルフォーラム総務)の開会宣言に続き、エルサレム市外務観光部ヒリック・バル長官代理は「世界の多くの国からこの聖会に参加するためにエルサレムを訪ねてくれた」と歓迎の挨拶をした。また、イスラエル観光部首席次官ノア・バルニル氏は祝辞で「このようにエルサレムの平和のために神様に祈って、イ・ジェロク牧師のメッセージを聞くのはすばらしいこと。このような機会を与えられて感謝する」と述べた。

その後、万民中央教会の公演チーム



高血圧、小児マヒ、がん、関節炎、糖尿病、新型インフルエンザなどの病名を呼んで、会場と生放送で参加する人々のために切に祈るイ・ジェロク牧師

の華麗な扇の舞をはじめ、約30分間、賛美とワーシップダンスが続いた。続いて、7年の病苦の中でまことの神に出会った後、海外で聖会を導くリバイバル講師として活躍しているイ・ジェロク牧師の27年間の牧会の働きが紹介された。

一日目、講壇に上がったイ・ジェロク牧師は「創造主の神」というタイトルで創造主の神だけが唯一のまことの神であり、全知全能であると述べた。参加者は終始真剣に耳を傾け、「アーメン」と拍手で答えた。

姿は、参加者だけでなく、放送とインターネットで見守った人々に深い印象を残した。

説教後、イ・ジェロク牧師はイエス・キリストの御名によって切に病人のために祈った。場内は熱気に包まれ、参加した人はほとんどが信仰で祈りを受けていた。祈りが終わるやいなや、いやされた人々があちこちに現れた。歩けなかった人が杖を捨て、車椅子から立ち上がって歩き始め、視力を回復した人々がメガネをはずし始めた。彼らは祈りを受けた瞬間、聖霊の火を全身に感じていやされたこと、講壇に上がってきた証した。

イ・ジェロク牧師の聖会では、WCDN(世界キリスト教放送人協会)の会員が、祈りを受けていやされたこと証言する人々をひとりひとり診断して、いやされたかどうかを正確に検証する。頭痛と喘息がいやされて、車椅子から立ち上がったミラ(63才)、6年間の子宮がんの苦しみから解放されたハッセ(48才)、また、エルベキア(52才)は婦人病、関節炎など11種類の病気による激しい痛みが祈りを受けた瞬間に消えたこと証した。エリ

全世界に宣べ伝えられたイエス・キリスト!

ザベス(69才)は3年前に糖尿病から視力が低下してメガネをかけていたが、祈りを受けた瞬間、目が良くなるのを感じて、メガネがなくても前のように見えると喜んだ。

福音の発祥地イスラエルで、イエス・キリストが救い主と宣言されるこの歴史的現場を目撃した世界のキリスト教マスコミ関係者は驚きを隠せなかった。ロシア教会協議会会長でTBNロシアテレビ社長でもあるイゴール・ニキータン牧師は「全世界から参加したロシア系の政治指導者、事業家、教会指導者は今回、マンミンを通して主が自分たちの人生を変えてくださったことを感じた。また、今までで最も大きい神の力あるわざを目撃した。エルサレムでの奇跡はここだけでなく、世界の国々の人々を感動させた」と述べた。

会場にはイ・ジェロク牧師の著書コーナーが設けられた。『目ざめよ、イスラエル』『十字架のこぼれ』『信仰の量り』『天国』(上・下)など英語、ロシア語、ヘブライ語、フランス語に翻訳された26冊の著書が販売された。最も売れたのは『地獄』で、次に『十の災い』『逆らう人生と従順の人生』『いやしの主』が人気を集めた。

いる。CNL放送を通してカザフスタンから聖会に参加したノルバン(40才)は「イ・ジェロク牧師のいやしの祈りの時、一週間動かせなかった脚が動くようになった」と会場にいた知人の携帯電話で証した。

インドでは「タミル・ナード州とカルナータカ州をカバーするアルパクテレビとサルバーションテレビで、多くの人が聖会に参加した。



神をほめたたえる観衆

また、チェンナイ万民教会など六つの教会ではスクリーン集会を行ない、そこでいやされた証しが次々と寄せられている。聖会の録画をZEEテレビで放送するためにヒンズー語でダビングを終えた」とハン・ジョンヒ牧師が伝えてきた。ニューヨークではリチェルが聖会の様子を見ているうちに聴力が回復して、幼い頃から使っていた補聴器を捨て、ネパール万民宣教センターのラクスマイ(55才)は腎臓結石、ガジュレル(49才)は痔、タマジュヒ(2才)は右手足のマヒがいやされた。

時間と空間を超えた聖霊の働き

二日間開かれた聖会は放送で世界220か国以上に中継されたが、テレビを視聴した人々からもいやされたという証しが殺到している。全知全能の神のみわざは時間と空間を超えて、今でも続いている。

腰痛、イ・ヨウク執事は湿疹と中耳炎、ファン・グアンオク勅士は膝の痛みがいやされた。

特にイ・ジェロク牧師は、乾期で深刻な水不足に悩むイスラエルのために雨を降らせてくださいと神に祈った。すると、イスラエルのダニエル・ローゼン牧師は次のように知らせた。「聖会の翌日の火曜日、ニュースでイスラエル北部と中部に雨が降っていると聞いた。イスラエルで9月に雨が降ったことは今までなかった。それだけでなく、一週間後、エルサレムからテルアビブに行く途中、どしゃ降りの雨にあった。イ・ジェロク牧師が祈ったとおりになった。この雨は神様が私たちと共におられるという証拠だ。」

今回の聖会はイスラエルの教会者が連合して「クリスタルフォーラム」という団体を作り、イ・ジェロク牧師を講師に招いて行なわれた。社会的に迫害されていたイスラエルのクリスチャンたちが自発的に集会を開いたことは奇跡だという。これは2007年7月23日から2009年7月7日まで、イ・ジェロク牧師の12次にわたる777日間のイスラエル宣教を通して、神の力を直接体験した教会がリバイバルして、力をつけているという証しでもある。

聖会が開かれた国際コンベンションセンターはイスラエルで最も大きい室内公演会場で、国際的な行事を行なう場所である。このような所でキリスト教の集会が開かれたことが、また異例なことであった。

世界の報道機関が熱い取材競争!

この聖会はロイター、AP、AFPの各通信社と、イギリスのガーディアン、韓国のコリアヘラルドなどの一般日刊紙、また、アメリカのANS、USA Religion News、Christian Newswire、韓国のキリスト教新聞、クリスチャン新聞、教会連合新聞などキリスト教新聞が報道した。

ウクライナのキリスト教メディア、クリスチャン・テレグラフは「イエス・キリストの十字架のこぼれが地を果て、イスラエルまで伝えられた。」と報道した。イスラエルの有力日刊紙エルサレム・ポストは「聞こえなかった人が聞こえるようになり、歩けなかった人が杖と車椅子から自由になったし、子宮がんがいやされたある女性は喜びの声を上げ、肺結核がいやされた人もいた」と報道した。

この聖会はエンラセ、TBNロシア、テイスターなど33の放送局から220か国以上に放送された。聖会の前、マンミンテレビのキム・ジン局長はイスラエル国営テレビのニュース番組に招かれて、聖会を紹介した。



RRSatレポートから33か国の放送局に接続、世界220か国以上に送出


Manmin Central Church
 Tel: 82-2-818-7042, 7063
 Fax: 82-2-818-7048
 www.manmin.org
 e-mail: ksy7042@hotmail.com


MANMINTV
 Tel: 82-2-824-7107
 Fax: 82-2-813-7107
 www.manmintv.org
 e-mail: info@manmintv.org


WCDN
 World Christian Doctors Network
 Tel: 82-2-818-7039
 Fax: 82-2-830-5239
 www.wcdn.org
 e-mail: wcdnkorea@gmail.com

万民ニュース
 発行人: イ・ジェロク
 編集者: ビン・グンソ
 www.manmin.org/Japanese
 編集発行: 万民中央教会
 〒152-848 韓国ソウル市九区九老3洞 235-3
 TEL: 82-2-818-7042 FAX: 82-2-818-7048